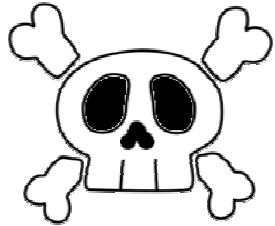


クラゲに刺されたら...

海を泳いでいると、しばしばクラゲに刺されることがあります。

刺されてしまった場合、どのように対処すればよいのでしょうか？

まず、触手を取り除きます。この際、素手で触らないように、ピンセットや手袋、タオルなどを用いましょう。素手で触ると、さらに刺されてしまうことがあるからです。



注意!

真水で洗ったり、こすったりすることは厳禁です。傷口は海水で洗うようにしましょう。

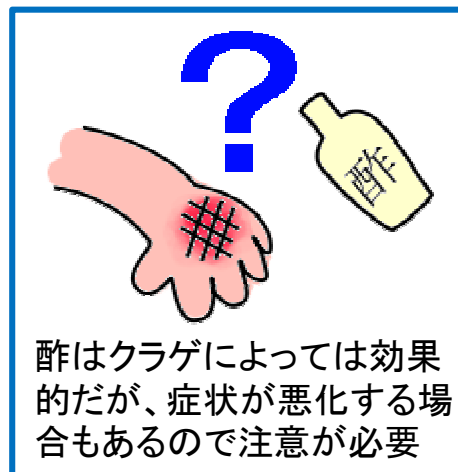


真水で洗うのは厳禁！

触手を取り除いた後は、氷や水で冷やしたり、ステロイド外用剤などをぬります。症状がひどいときは、すぐに病院にいきましょう。

なお、沖縄に生息するハブクラゲに刺された場合は、酢酸をかけると刺胞を弱める効果があるようです。

ただし、カツオノエボシなどは、酢酸をかけるとさらに刺胞が発射されてしまい、逆効果となるので注意が必要です。



酢はクラゲによっては効果的だが、症状が悪化する場合もあるので注意が必要

死亡例あり!

死亡例あり!



アンドンクラゲ

お盆の時期に大量に発生することがあります。水中では非常に見えにくいので注意が必要です。



カツオノエボシ

春から夏に沿岸で見られます。傘の部分が浮き袋となり、青いビニールのように見えます。



イラモ

浅い岩礁やサンゴ礁などに多くみられます。刺されると、痛みとかゆみが数日続くこともあります。



アカクラゲ

刺されるとかなり痛みますが、アンドンクラゲなどに比べると、それほど危険ではないようです。